資料1-2

２０２５年日本国際博覧会（大阪・関西万博）直近の準備状況等について

2024/6/13　公益社団法人２０２５年日本国際博覧会協会　持続可能性部企画課　作成

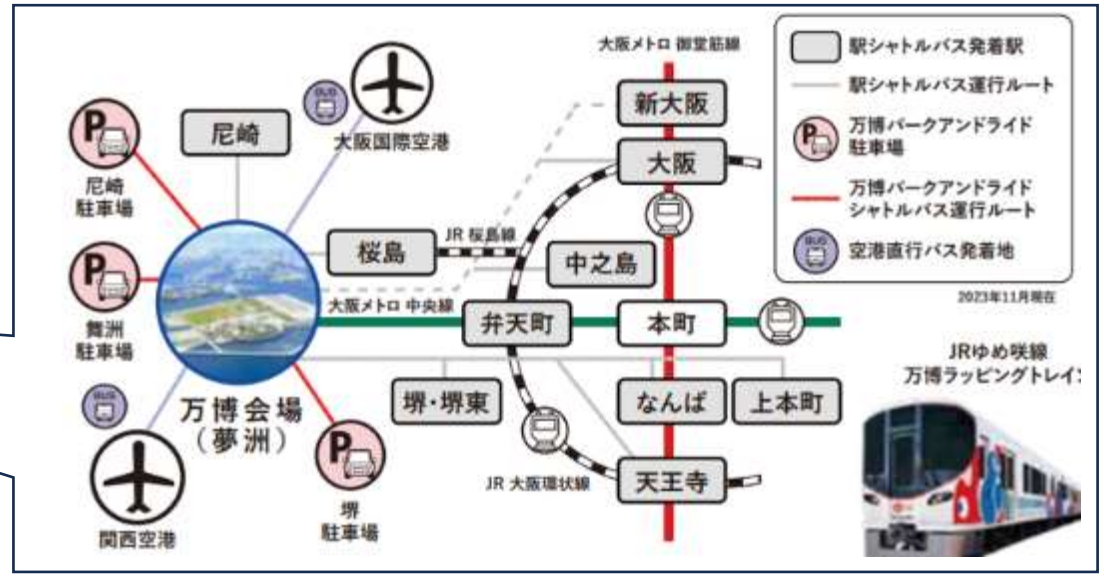
©Copyright Japan Association for the 2025 World Exposition, All rights reserved.

１．２０２５年日本国際博覧会（大阪・関西万博）開催概要

名　称	２０２５年日本国際博覧会（略称：大阪・関西万博 ）
テーマ	**いのち輝く未来社会のデザイン**
サブテーマ	Saving Lives（いのちを救う） Empowering Lives（いのちに力を与える） Connecting Lives（いのちをつなぐ）
コンセプト	**People's Living Lab（未来社会の実験場）**
会　場	夢洲(ゆめしま)（大阪市此花区）
開催期間	2025年4月13日～10月13日

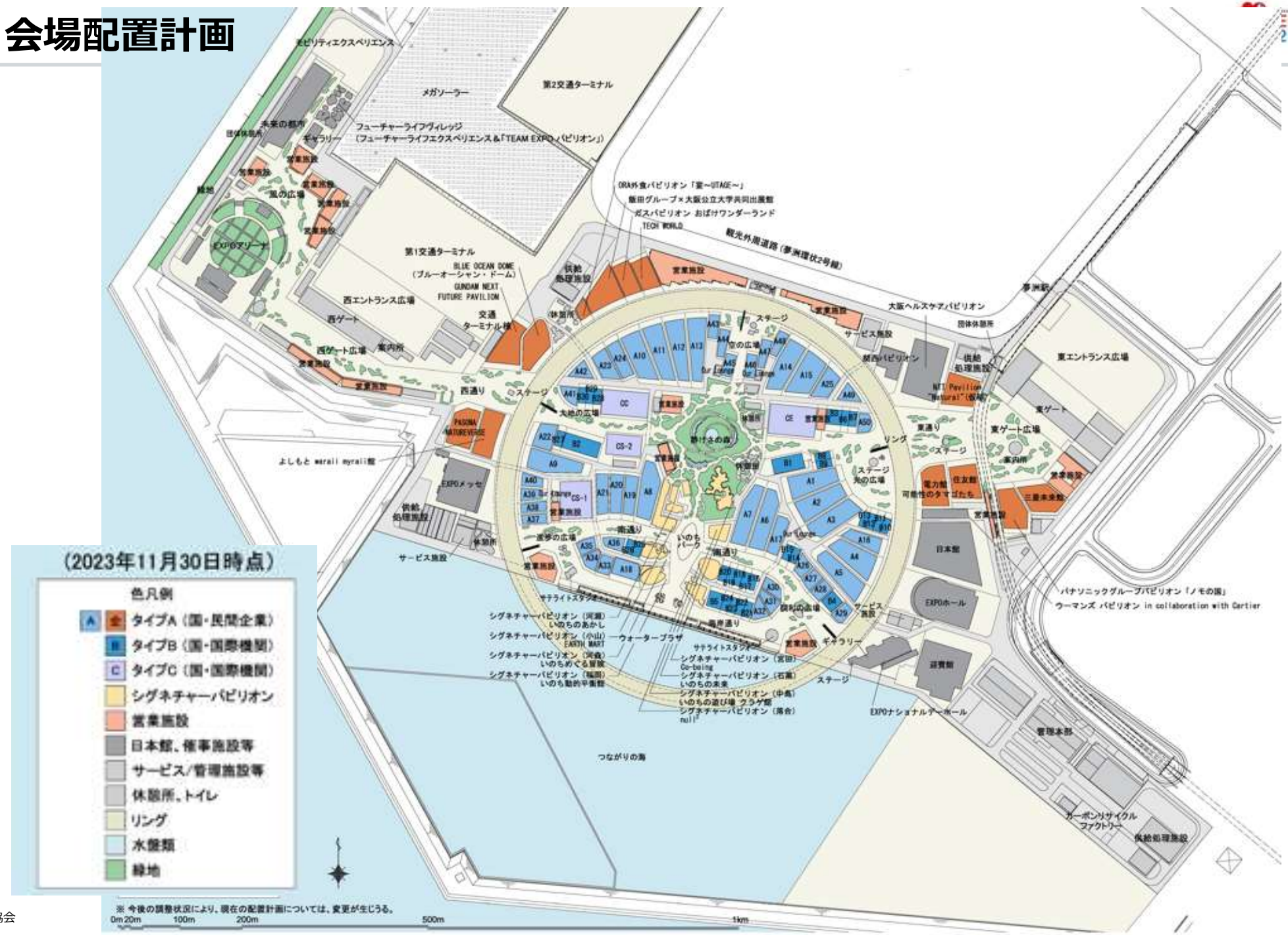
【ロゴマーク】

【公式キャラクター：ミャクミャク】



作成：2025年日本国際博覧会協会

2-1．会場配置計画



作成：2025年日本国際博覧会協会

2-2．会場配置計画

ORA外食パビリオン「宴～STAGE～」
飯田グループ×大阪公立大学共同出展館
ガスパビリオン おばけワンダーランド
TECH WORLD
観光外周道路（夢洲環状2号線）
EXPOアリーナ
風の広場
第1交通ターミナル
BLUE OCEAN DOME
（ブルーオーシャン・ドーム）
GUNDAM NEXT FUTURE PAVILION
西エントランス広場
西ゲート
交通ターミナル橋
西ゲート広場
案内所
西通り
ステージ
大地の広場
TAISHA NATUREVERSE
よしもと warai myrai館
EXPOメッセ
供給処理施設
休憩所
サービス施設
営業施設
CC
CS-2
CS-1
CE
A9
A10
A11
A12
A13
A14
A15
A16
A17
A18
A19
A20
A21
A22
A23
A24
A25
A26
A27
A28
A29
A30
A31
A32
A33
A34
A35
A36
A37
A38
A39
A40
A41
A42
A43
A44
A45
A46
A47
A48
A49
A50
A1
A2
A3
A4
A5
A6
A7
A8
B1
B2
B3
B4
B5
B6
B7
B8
B9
B10
B11
B12
B13
B14
B15
B16
B17
B18
B19
B20
B21
B22
B23
B24
B25
B26
B27
B28
B29
B30
B31
B32
B33
B34
B35
B36
B37
B38
B39
B40

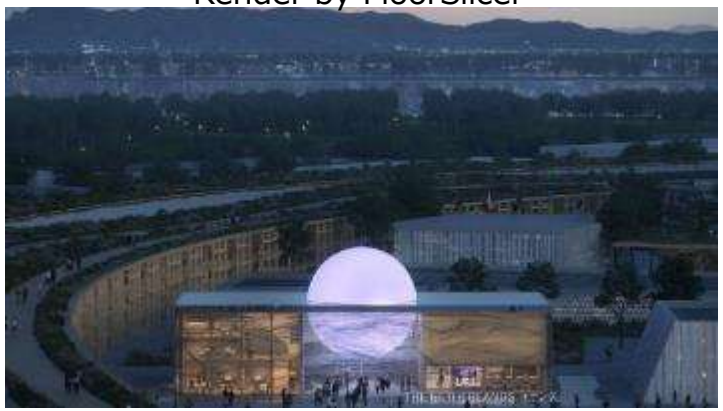
3-1．公式参加者パビリオン

イタリアパビリオン
「芸術は生命を再生する」

オーストラリアパビリオン
「Chasing the Sun – 太陽の大地へ 」
Design by Buchan Holdings Pty Ltd,
Render by FloorSlicer

オーストリアパビリオン
「オーストリア：未来を作曲 」
©BWM Designers & Architects

オマーンパビリオン
「地球、水、人間性」
©Embassy of the Sultanate of Oman-Tokyo



オランダパビリオン
「Common Ground/コモングラウンド 」
© Plomp

カナダパビリオン
「再生（Regeneration）」
©Embassy of Canada

作成：2025年日本国際博覧会協会

3-2．公式参加者パビリオン

サウジアラビアパビリオン
「より良い未来のために一緒に」
©The Saudi Pavilion at Expo 2025 Osaka, Kansai, Japan

スイスパビリオン
「生命（ライフ）、地球（プラネット）、人間拡張（オーグメンテッド・ヒューマン）」
© FDFA, Presence Switzerland

チェコパビリオン
「人生のための才能と創造性」

中国パビリオン
「自然と共に生きるコミュニティの構築-グリーン未来社会-」
©素材提供：中国国際貿易促進委員会（CCPIT）

ドイツパビリオン
「わ！ドイツ」
© German Pavilion / MIR LAVA facts+fiction

フランスパビリオン
「愛の賛歌」
©Coldefy+Carlo Ratti Associatti

作成：2025年日本国際博覧会協会

3-3．公式参加者パビリオン

ベルギーパビリオン
「水」
©BelExpo

ポーランドパビリオン
「ポーランド。未来を切り拓く遺産 」
パビリオン設計：アリシャ・クビツカ、ボルハ・マルティネス（Interplay Architects)）

ルクセンブルグパビリオン
「Doki Doki- ときめくルクセンブルク 」
© STDM architects

海外パビリオンの詳細情報は、以下の協会ホームページをご覧ください。

https://www.expo2025.or.jp/official-participants-index/

・パビリオンの概要
・パース図、動画
・関連情報（公式参加契約の締結、起工式の実施）
・公式情報のリンク

4．シグネチャーパビリオン

いのちを響き合わせる

宮田 裕章

慶応義塾大学教授

Better Co-Being

いのちを拡げる

石黒　浩

大阪大学教授、ATR石黒浩特別研究所客員所長

いのちの未来

大阪・関西万博を
象徴・代表する事業
「シグネチャープロジェクト」

8名のプロデューサーが
大阪・関西万博のテーマ
「いのち輝く未来社会のデザイン」を
それぞれの観点から
解釈、展開し
未来に生きる人々に
繋ぎ渡すパビリオンです

いのちを知る

福岡 伸一

生物学者、青山学院大学教授

いのち動的平衡館

いのちを育む

河森　正治

アニメーション監督、メカニックデザイナー、ビジョンクリエーター

いのちめぐる冒険

いのちを高める

中島　さち子

音楽家、数学研究者、STEAM教育家

いのちの遊び場 クラゲ館

いのちを語く

落合　陽一

メディアアーティスト

null²

いのちをつむぐ

小山 薫堂

放送作家、京都芸術大学副学長

EARTH MART

いのちを守る

河瀬　直美

映画作家

Dialogue Theater
－いのちのあかし－

作成：2025年日本国際博覧会協会

5．日本館等パビリオン

日本国、自治体、官民連携によるパビリオンが、万博のテーマを具現化し、来場者をお迎えします

関西パビリオン　提供：関西広域連合
https://www.expo2025.or.jp/domestic-pv-index/kansai-pv/

大阪ヘルスケアパビリオン　提供：（公社）大阪パビリオン
Nest for Reborn
https://www.expo2025.or.jp/domestic-pv-index/osaka-pv/

日本館　提供：経済産業省
https://www.expo2025.or.jp/domestic-pv-index/japanese-government/

ウーマンズ パビリオン　© Cartier
in collaboration with Cartier
https://www.expo2025.or.jp/domestic-pv-index/womens-pv/

作成：2025年日本国際博覧会協会

6．民間パビリオン

民間特有の自由な発想や構想力により、来場者に未来社会を感じさせ、感動を与えてくれます

https://www.expo2025.or.jp/domestic-pv-index/

（提供）一般社団法人大阪外食産業協会
ORA外食パビリオン
『宴～UTAGE～』

（提供）飯田グループホールディングス株式会社
飯田グループ×大阪公立大学
共同出展館

（提供）一般社団法人日本ガス協会
ガスパビリオン
おばけワンダーランド

（提供）玉山デジタルテック株式会社
TECH WORLD

（提供）日本電信電話株式会社
NTT Pavilion"Natural"

（提供）株式会社バンダイナムコホールディングス
GUNDAM NEXT FUTURE PAVILION

（提供）電気事業連合会
電力館　可能性のタマゴたち

（提供）特定非営利活動法人ゼリ・ジャパン
BLUE OCEAN DOME
（ブルーオーシャン・ドーム）

住友館（提供）住友EXPO2025推進委員会

（提供）株式会社パソナグループ
PASONA NATUREVERSE

（提供）吉本興業ホールディングス株式会社
よしもと waraii myraii館

（提供）パナソニック ホールディングス株式会社
パナソニックグループパビリオン
「ノモの国」

（提供）三菱大阪・関西万博総合委員会
三菱未来館

作成：2025年日本国際博覧会協会

7-1．催事（イベント）について ～催事コンセプト・催事の分類・編成工程～

催事コンセプト

― ステートメント ―

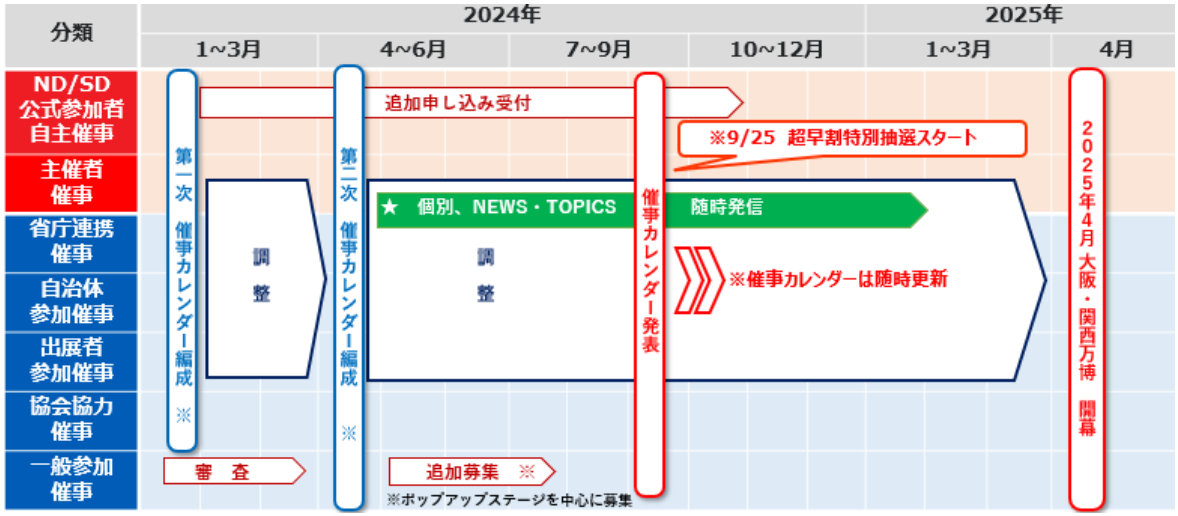
THAT ONE STEP WILL SHIFT THE FUTURE.

その一歩が、未来を動かす。

万博へ参加する人たちに、「未来にいのちをつなぐ一歩」のきっかけをつくる。

＜催事（イベント）の編成工程＞

✓ 開幕に向けた編成工程は以下の通り。



※実施が決まった催事については、催事実施者の許諾を得た上、適宜発表予定

※現時点での想定です。各日程は、変更になる場合があります。

＜催事(イベント)の分類＞

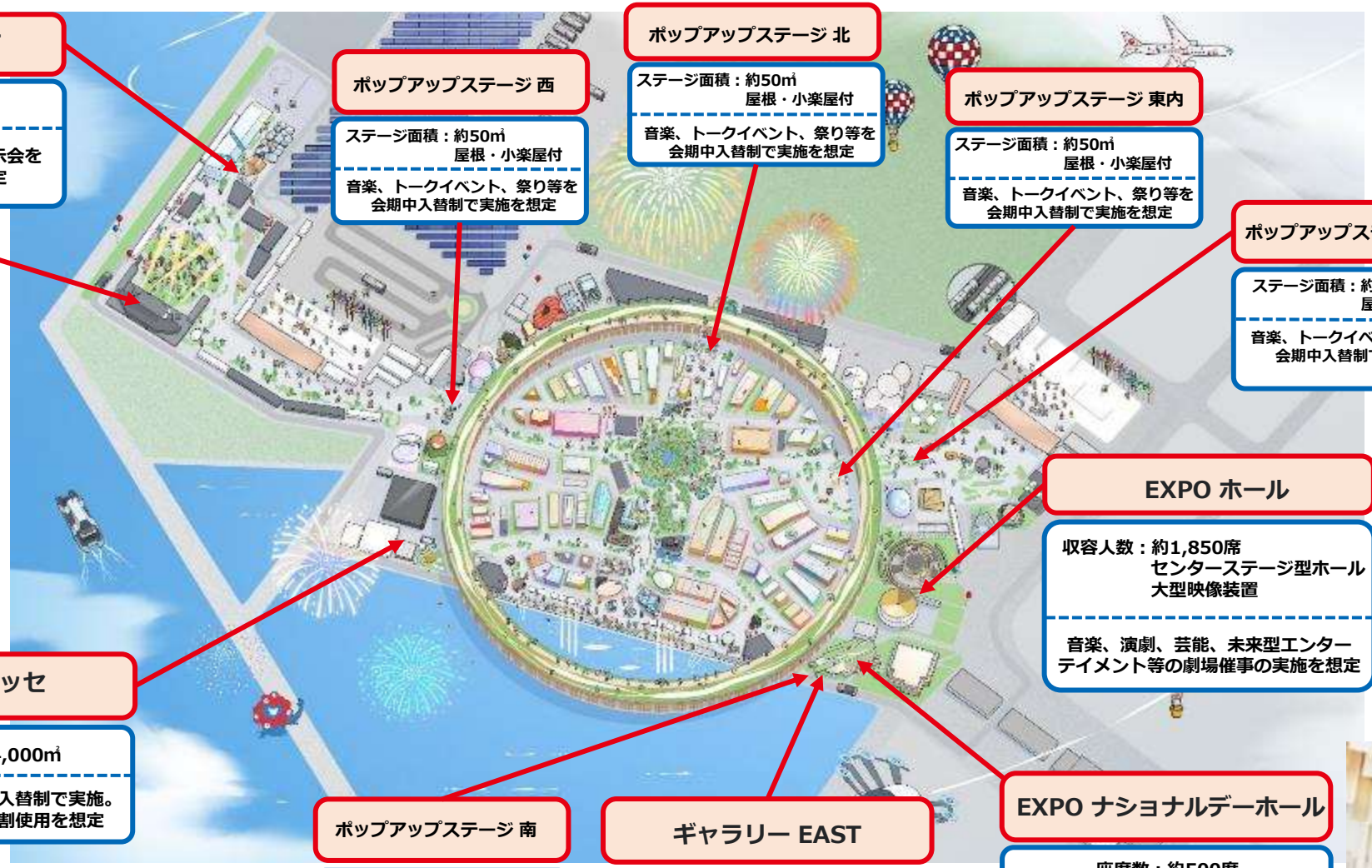
✓ 開会式等の「公式行事」、協会が主導的に企画して万博のテーマや催事コンセプトを発信する「主催者催事」、文化団体や自治体等の参加による「参加催事」がある。

	分類	実施主体	内容
公式行事	開会式、閉会式	2025年日本国際博覧会協会	博覧会の開幕や閉幕を祝う式典。
	ナショナルデー(ND) スペシャルデー(SD)	公式参加者(公式参加の国・地域・国際機関)	公式参加者の参加を称える日。 公式参加者が国内外の賓客を招いて行う式典。
	BIEデー	博覧会国際事務局(BIE)	閉会前日にBIEが行う式典。
主催者催事	協会企画催事	2025年日本国際博覧会協会(催事企画プロデューサー)	博覧会催事の中核として、博覧会テーマを体現する催事。
	シグネチャーイベント	2025年日本国際博覧会協会(テーマ事業プロデューサー)	8名のテーマ事業プロデューサーが行う催事。

	分類	内容
参加催事	公式参加者自主催事	公式参加者が自主的に行う催事。
	省庁連携催事	省庁が中心となって実施する催事。
	自治体参加催事	都道府県などが中心となって実施する催事。
	出展者参加催事(パビリオンデー)	民間パビリオン出展者が実施する催事。
	協会協力催事	博覧会に必要な催事を実現するため、協会より協力要請を受けた外部団体等が行う催事。
	一般参加催事	一般に公募して行う催事。

作成：2025年日本国際博覧会協会

7-2．催事（イベント）について ～催事施設～



ギャラリー WEST

展示面積：約500㎡

アニメ、ファッション等の展示会を会期中入替制で実施を想定

ポップアップステージ 西

ステージ面積：約50㎡
屋根・小楽屋付

音楽、トークイベント、祭り等を会期中入替制で実施を想定

ポップアップステージ 北

ステージ面積：約50㎡
屋根・小楽屋付

音楽、トークイベント、祭り等を会期中入替制で実施を想定

ポップアップステージ 東内

ステージ面積：約50㎡
屋根・小楽屋付

音楽、トークイベント、祭り等を会期中入替制で実施を想定

ポップアップステージ 東外

ステージ面積：約50㎡
屋根・小楽屋付

音楽、トークイベント、祭り等を会期中入替制で実施を想定

EXPO アリーナ

収容人数：1万人規模
屋根付きステージ
大型映像装置

大型ライブイベント、映像上映、祭り等の屋外催事の実施を想定

EXPO ホール

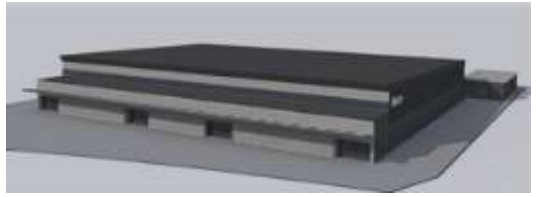
収容人数：約1,850席
センターステージ型ホール
大型映像装置

音楽、演劇、芸能、未来型エンターテイメント等の劇場催事の実施を想定

EXPO メッセ

展示面積：約4,000㎡

様々な展示会を会期中入替制で実施。
2,000㎡の２面で分割使用を想定



ポップアップステージ 南

ステージ面積：約50㎡
屋根・小楽屋付

音楽、トークイベント、祭り等を会期中入替制で実施を想定

ギャラリー EAST

展示面積：約300㎡

アニメ、ファッション等の展示会を会期中入替制で実施を想定

EXPO ナショナルデーホール

座席数：約500席

ナショナルデー・スペシャルデー式典、その他の劇場催事の実施を想定

作成：2025年日本国際博覧会協会

7-3．催事（イベント）について ～主催者催事・アート万博～

主催者催事

One World, One Planet.（仮称）

- 世界がもしもひとつの国（星）だったなら -

会場全体の音響や映像装置、さらには来場者の持つデバイスが、まるでひとつの大きな生き物の細胞のように連動し、願いのモーメントが光だす。

会期中の日没後、毎日実施予定

THE HUMAN ORCHESTRA

（仮称）

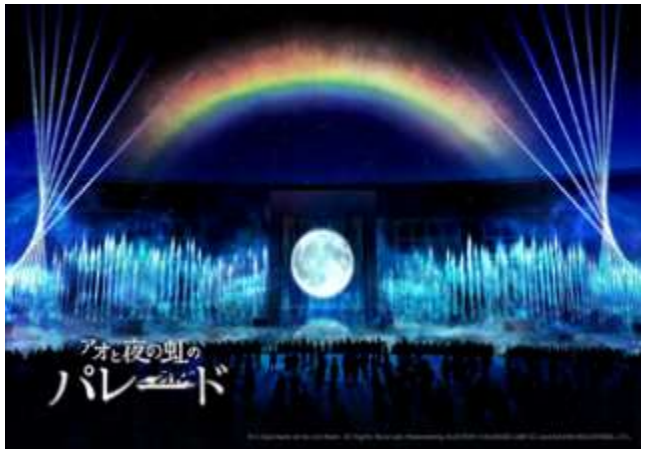
- それは、ひとりひとりの個性が奏でる未来のオーケストラ -

多様な個性を持つ一人ひとりが、自分の個性あふれるオリジナリティのある音を奏で、その違いを認め合い、共鳴させることで、ひとつの美しいオーケストラとなる。

EXPOホールにて、
開幕日より8日程度実施予定

アート万博

「アオと夜の虹のパレード」



幅約120メートルのウォータープラザの巨大空間を舞台に「水と空気」をテーマに、光、映像そして音楽が織りなすスペクタクルショー

（特設WEBサイト） https://www.expo2025.airandwatershow.jp/

ウォータープラザにて、
会期中の日没後、毎日実施予定

作成：2025年日本国際博覧会協会

8．テーマウィーク

＜テーマウィークとは＞

世界が半年間の長きにわたり同じ場所に集う万博の特性を活かし、地球的規模の課題の解決に向けて英知を持ち寄り、対話による解決策を探る取り組み約1週間ごとに地球的課題をテーマに設定し、主催者だけでなく、公式参加国、政府・自治体、共創事業参加者、出展企業等の万博参加者、及び全国の自治体や産業界等が集い、解決策を話し合う「対話プログラム」と、行動のための「ビジネス交流」などを　実施

＜ドバイ万博のレガシー＞

ドバイ万博では「気候変動や生物多様性」、「宇宙」、「都市・農村開発」、「水」など10の世界的重要課題を取り上げ、それぞれの課題に対し、世界中・各界から様々な人々が集い、リアルとオンラインを併用し議論を交わす『テーマウィーク』が実施されました。

対話プログラム（主催者）

WORLD MAJLIS（ワールド・マジュリス）

対話プログラム（参加者）

ウィメンズパビリオンでの取り組み

ビジネス交流

ビジネスフォーラム

○ プログラム実施主体と実施場所

	トラック1	トラック2	トラック3	トラック4	トラック5
実施主体	公式参加者	日本国政府 自治体 等	博覧会協会（アジェンダ2025）（テーマ事業）	TEAM EXPO 2025	万博参加企業
実施場所会場内	公式パビリオン	日本政府館 大阪パビリオン メッセ 等	スタジオ メッセ シグネチャーパビリオン	フューチャーライフ エクスペリエンス	民間パビリオン 未来社会ショーケース
会場外	全国規模での各種国際会議などの実施、誘致・連携（テーマウィークコネクト）				

○ テーマウィークカレンダー

作成：2025年日本国際博覧会協会

9．TEAM EXPO 2025

つくろう。みんなで。EXPO 2025

TEAM EXPO 2025：誰もが参画できる万博の新しいカタチ

：大阪・関西万博のテーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」を実現し、SDGsの達成に貢献するために多様な参加者が主体となって理想としたい未来社会を共に創り上げていく**参加型プログラム**です。

メンバーが2人以上いれば、登録できる**万博公式プログラム**で、企業単位でも、団体、学校、NPO団体、チームでも登録できます。

プログラムに参加

共創チャレンジ

共創パートナー

プログラムの元共創の創出

出会い　共創

チャレンジ・パートナーに関わる人々がつながり、共創することで、それぞれの活動を発展させていくことができる。

万博会期中に展示・紹介

3,000組以上の共創チャレンジが世界に向けて、発表・展示できます。

さらに世界各地で再生可能な、将来の為に活用できる取り組みは「ベストプラクティス」として展示。

レガシーとして継承

作成：2025年日本国際博覧会協会

10. 未来社会ショーケース事業

「未来社会ショーケース事業」は、

SDGs達成後に実現するSociety 5.0の社会＝“いのち輝く未来社会”を支える技術・サービスを先んじて展示・体験する場です。

https://www.expo2025.or.jp/future-index/

空飛ぶクルマ

・2025年時点で各企業・団体様の開発した
最新のテクノロジーやサービスの実装・実証の場として活用

・各企業・団体様の構想する
2025年より先の社会を支えるテクノロジー・サービスの
実証実験/デモンストレーションの場として活用

EVバス

バーチャル会場

© NTT CORPORATION

来場者向け
パーソナルエージェント

未来の都市

作成：2025年日本国際博覧会協会

11. 会場内エリア案内と営業施設イメージ

出典…営業参加｜EXPO 2025 大阪･関西万博公式Webサイト HOME＞出展･協賛する＞営業参加＞営業参加二次公募（物販･飲食）（2024年2月）

風の広場・西ゲート広場エリア

開催地である日本・関西・大阪の食や品物を
広域からの来場者を中心にPRするエリア

【立地特性】
・ゲート、交通ターミナルなどのゲート機能近接
・屋外イベント広場近接
・未来を感じるフューチャーライフパーク近接

【業態イメージ】
・日本、関西、大阪の店舗を中心に集約
・大阪の食集積や日本を代表する品物の物販店舗を配置

ウォータープラザエリア

水辺に近いロケーションを活かした
ゆったりとした時間を過ごすエリア

【立地特性】
・ウォータープラザに隣接のロケーションであり、水上ショーの実施エリア
・海外パビリオン、シグネチャーパビリオンが近接

【業態イメージ】
・水辺のロケーションとグルメを楽しめる飲食・物販店舗

静けさの森エリア

会場中心の「静けさの森」や海外パビリオンに
近接する未来を感じる食のエリア

【立地特性】
・会場中心の「静けさの森」近接
・海外パビリオン、シグネチャーパビリオンが近接

【業態イメージ】
・静けさの森隣接の立地で食の未来へ導く飲食店舗
・他エリアにはない未来の食を感じられる飲食店舗の集積

空の広場エリア

海外パビリオンと近接の立地を活かした
これからのダイバーシティを楽しむことができるエリア

【立地特性】
・海外パビリオン・民間パビリオン・静けさの森近接
・会場を形成するリングに沿った建築

【業態イメージ】
・海外パビリオン近接の周辺の雰囲気を取り込み、世界各国の飲食も楽しめる店舗の集積
・SDGsを意識した未来社会の実現に取り組む飲食・物販店舗

東ゲート広場エリア

万博に訪れる日本全国・各国の人々を招き入れる
日本のゲート機能を持つエリア

【立地特性】
・来場者の多くが利用することが予想される大阪メトロ夢洲駅直結の東ゲート近接
・日本政府館、大阪ヘルスケアパビリオン、民間パビリオン近接

【業態イメージ】
・JAPANマルシェを中心としたおもてなし感やウェルカム感のある物販・飲食店舗が集積
・東ゲート近接で入退場来場者のお土産需要を獲得

作成：2025年日本国際博覧会協会

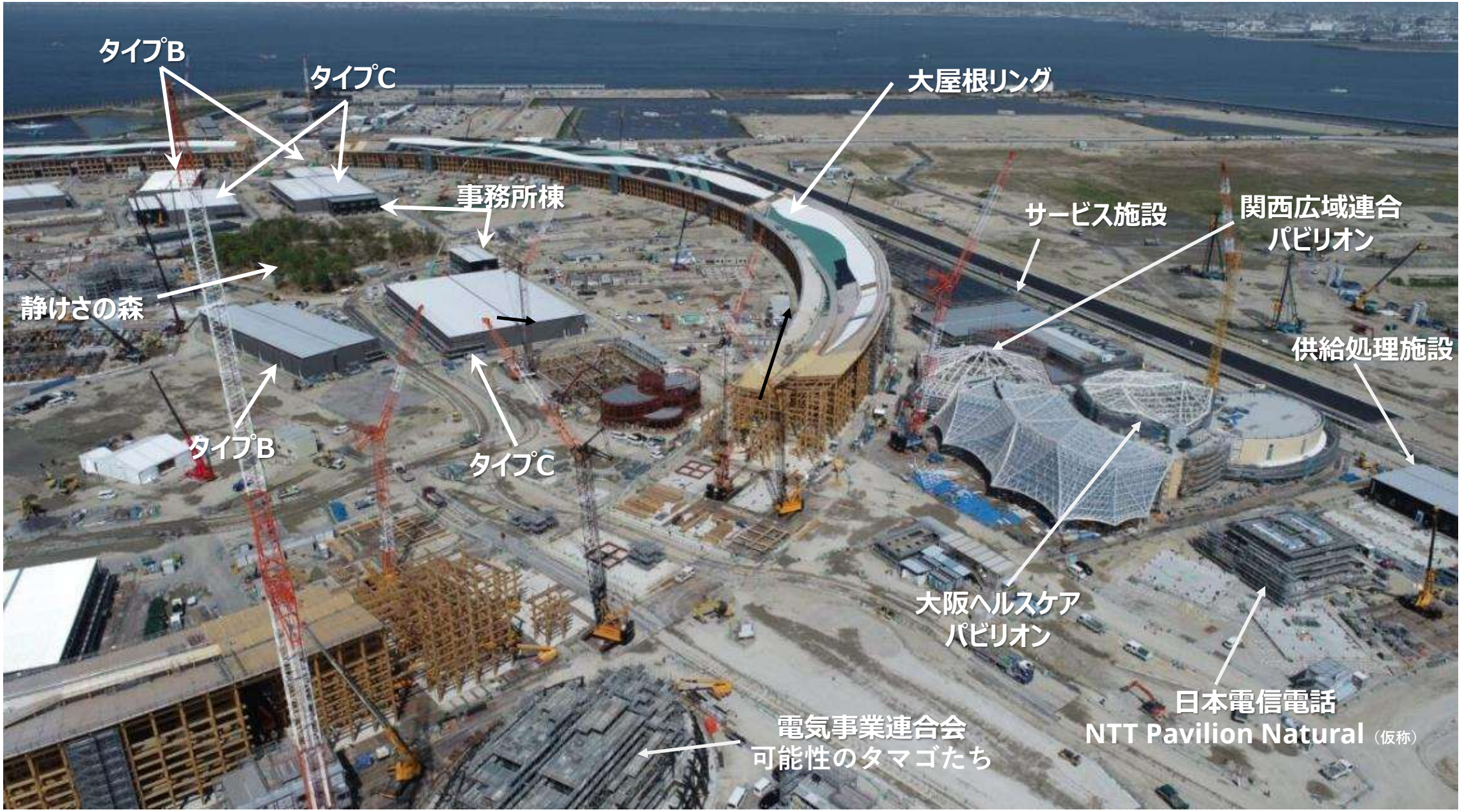
12-1. 会場建設の様子（南西から市内中心方向）

博覧会協会撮影（撮影日　2024/4/19）

作成：2025年日本国際博覧会協会

12-2. 会場建設の様子（東から神戸方向）

博覧会協会撮影（撮影日　2024/4/19）



作成：2025年日本国際博覧会協会

12-3．会場建設の様子（パビリオンワールド）

博覧会協会撮影（撮影日　2024/4/19）

作成：2025年日本国際博覧会協会

13. ボランティア活動

2025年日本国際博覧会のボランティアは、多様な方々に万博に参加いただける機会であり、多くの仲間と一丸となって万博を創り上げていく等、他では得られない貴重な体験ができるチャンスです。

活動のイメージ

《会場ボランティア》

・来場者の案内・歓迎、美化活動のサポート
・案内所や休憩所等の運営サポート
・外国語を活かした各種業務のサポート

《大阪まちボランティア》

・まちなかでの万博情報案内
・主要駅・空港等での交通案内
・まちなかでの観光情報の案内
※大阪まちボランティアは大阪府・大阪市が運営

募集結果・今後の予定

- 約2万人の募集に対し、**55,634人の方からご応募**いただきました。
- 多くの方からご応募いただいたこと等を踏まえ、**会場ボランティアでは14,000人、大阪まちボランティアでは16,000人を抽選のうえ、登録**しました。（6/3に結果通知）
- 6月中旬以降、**面談や研修を実施**していきます。

《参考》ボランティア募集の概要（募集期間：2024年1月26日～4月30日）

＊活動期間：2025年4月13日（日）～10月13日（月/祝）の間で5日間以上でOK（１日当たり３～6時間程度）
＊応募要件：・2025年4月1日時点で満18歳以上の方
・日本語による会話（意思疎通）が可能であること（語学力や特別な資格等は不要）
・面談・研修への参加可能であること
＊ユニフォーム等：・ユニフォーム一式の提供（Tシャツ、ベスト、ハット、バッグ等）
・ボランティア活動保険への加入（研修及び活動期間中を補償）
・活動日の交通費・食費相当の支給（2,000円相当・プリペイドカード等を予定）

作成：2025年日本国際博覧会協会

14. 入場券販売

大阪・関西万博ではQRコードをゲートで提示して頂く「電子チケット」を導入します。電子チケットによってパビリオン・催事の事前予約など多彩なサービスの提供が可能となります。

1．販売期間
2023年11月30日（木）から2025年10月13日（月）まで

2．販売場所
①EXPO 2025デジタルチケット公式販売Webサイト
https://ticket.expo2025.or.jp/

②協会が販売契約を締結した販売事業者のWebサイト及び店頭
・入場チケットを取り扱う販売事業者の一覧
https://ticket.expo2025.or.jp/basic/?id=1

3．来場までの流れ
https://www.expo2025.or.jp/tickets-index/information/

4．種類・価格

項目		チケット名	概要	大人（満18歳以上）	中人（満12-17歳）	小人（満4-11歳）
前売チケット		開幕券	4月13日から4月26日まで 1回入場可	4,000円	2,200円	1,000円
		前期券	4月13日から7月18日まで 1回入場可	5,000円	3,000円	1,200円
	一日券	超早割一日券（23年11月30日～24年10月6日まで販売）	会期中いつでも1回入場可	6,000円	3,500円	1,500円
	一日券	早割一日券（24年10月7日～25年4月12日まで販売）	会期中いつでも1回入場可	6,700円	3,700円	1,700円
		夏パス	7月19日から8月31日まで 11時以降何度でも入場可	12,000円	7,000円	3,000円
		通期パス	4月13日から10月3日まで 11時以降何度でも入場可	30,000円	17,000円	7,000円
		特別割引券（会期終了まで販売）	障がい者手帳等をお持ちの方及び同伴者1名が購入可能で、会期中いつでも1回入場可	3,700円	2,000円	1,000円
会期中販売チケット		一日券	会期中いつでも1回入場可	7,500円	4,200円	1,800円
会期中販売チケット		平日券	土日祝を除く 平日11時以降1回入場可	6,000円	3,500円	1,500円
会期中販売チケット		夜間券	会期中いつでも 17時以降1回入場可	3,700円	2,000円	1,000円

作成：2025年日本国際博覧会協会

15－1. 公益社団法人２０２５年日本国際博覧会協会　役員構成（2024年４月１日時点／敬称略）

会長　（代表理事）　十倉　雅和　一般社団法人日本経済団体連合会会長

事務総長（代表理事）　石毛　博行　元独立行政法人日本貿易振興機構理事長

副会長（理事）
- 松本　正義　公益社団法人関西経済連合会会長
- 角元　敬治　一般社団法人関西経済同友会代表幹事
- 川崎　博也　神戸商工会議所会頭
- 新浪　剛史　公益社団法人経済同友会代表幹事
- 横山　英幸　大阪市長
- 國部　毅　公益社団法人２０２５年日本国際博覧会協会 財務委員会委員長
- 池坊　専好　華道家元池坊 次期家元、一般財団法人池坊華道会副理事長
- ウスビ・サコ　京都精華大学 前学長／全学研究機構長　人間環境デザインプログラム　教授
- 鳥井　信吾　関西商工会議所連合会会長、大阪商工会議所会頭
- 塚本　能交　京都商工会議所会頭
- 小林　健　日本商工会議所会頭
- 吉村　洋文　大阪府知事
- 三日月 大造　関西広域連合　広域連合長
- 浅川　智恵子　日本科学未来館 館長、 IBMフェロー

理事
- 小川　理子　パナソニック ホールディングス株式会社 参与、関西渉外・万博推進担当（兼）テクニクスブランド事業担当
- ロバート　キャンベル　早稲田大学 特命教授
- 栗原　美津枝　公益社団法人経済同友会 副代表幹事、 株式会社価値総合研究所 代表取締役会長
- 佐野　真由子　京都大学大学院教育学研究科 教授
- 澤田　拓子　公益社団法人関西経済連合会　副会長、塩野義製薬株式会社　取締役副会長
- 寺田　千代乃　アート引越センター株式会社　名誉会長
- 野崎　治子　国立大学法人京都大学　理事
- 野田　由美子　一般社団法人日本経済団体連合会　副会長、ヴェオリア・ジャパン合同会社　代表取締役会長
- 廣瀬　恭子　大阪商工会議所 副会頭・女性会会長、株式会社広瀬製作所 代表取締役社長
- フォーリー淳子　一般社団法人関西経済同友会　常任幹事、大同門株式会社　代表取締役社長
- 福本　ともみ　公益財団法人サントリー芸術財団　シニアアドバイザー
- 御手洗　瑞子　株式会社気仙沼ニッティング 代表取締役社長
- 芳野　友子　日本労働組合総連合会 会長

副事務総長（理事）
- 小野　平八郎　元財務総合政策研究所副所長
- 髙科　淳　元内閣官房国際博覧会推進本部事務局次長
- 東川　直正　元近畿地方整備局長
- 田中　清剛　元大阪府副知事
- 櫟　真夏　元公益社団法人関西経済連合会常務理事

監事
- 小原　正敏　きっかわ法律事務所 代表弁護士
- 中務　裕之　中務公認会計士・税理士事務所所長、 公認会計士・税理士

作成：2025年日本国際博覧会協会

15－2. 公益社団法人２０２５年日本国際博覧会協会　概要

2019年1月30日
法人設立

2019年4月19日
万博特別措置法成立

2019年5月31日
経済産業大臣が当協会を博覧会業務を行う法人に指定

2019年10月21日
内閣府より公益認定を受け、「公益社団法人」となる

●**人員（2024.4.1時点）**

国・大阪府・大阪市・関西広域連合構成府県

市・経済界等より職員を派遣（約770名）

【事務局組織図】

事務総長
石毛　博行

副事務総長
小野　平八郎

副事務総長
髙科　淳

副事務総長
東川　直正

副事務総長
田中　清剛

副事務総長
櫟　真夏

局	部	課
総合戦略室		
経営企画室		
		監査室
総務局	総務部	秘書室
		総務課
		人事課
		法務課
	財務部	財政課
		経理課
		資金管理課
	調達部	調達課
		契約課
広報・プロモーション局	企画部	企画課
		事業推進課
		共創推進課
	広報部	広報企画課
		広報報道課
		デジタルコミュニケーション課
	海外コミュニケーション部	海外広報・プロモーション課
	地域・観光部	地域連携課
		観光推進課
	入場券部	入場券企画課
		営業推進課
		販売・予約推進課
企画局	企画部	企画課
		企画事業課
		テーマ事業課
		出展課
		テーマウィーク課

局	部	課
企画局	持続可能性部	企画課
		脱炭素課
		資源循環課
イベント局	イベント部	編成・制作課
		運営・事業課
ICT局	ICT部	ICTシステム課
		サイバーセキュリティ課
		バーチャル課
会場運営局	来場者サービス部	来場者サービス課
		ボランティア課
	運営管理部	運営管理課
		物流課
危機管理局	危機管理部	危機管理課
交通局	交通部	輸送企画課
		輸送調整課
		道路交通対策課
		道路交通施設課
整備局	整備調整部	整備調整課
		建築調整課
		土木インフラ課
	会場整備部	建築１課
		建築２課
		建築３課
		設備課
国際局	企画支援部	企画課
		支援業務課
	参加調整部	参加調整課

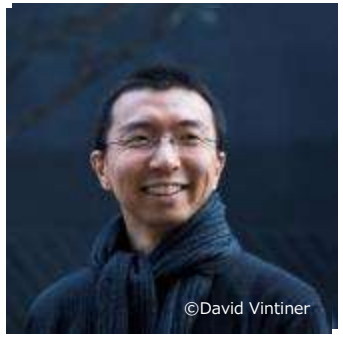
１２局(室)　２０部　５４課(室)

作成：2025年日本国際博覧会協会

15－3. プロデューサー

会場デザイン プロデューサー

藤本 壮介
建築家



会場運営 プロデューサー

石川　勝
プランナー、プロデューサー

テーマ事業 プロデューサー

宮田 裕章
慶応義塾大学教授

「いのちを響き合わせる」

石黒　浩
大阪大学栄誉教授、
ATR石黒浩特別研究所客員所長

「いのちを拡げる」

中島 さち子
音楽家、数学研究者、
STEAM教育家

「いのちを高める」

落合 陽一
メディアアーティスト

「いのちを磨く」

福岡 伸一
生物学者、
青山学院大学教授

「いのちを知る」

河森 正治
アニメーション監督、メカニック
デザイナー、ビジョンクリエー

「いのちを育む」

小山 薫堂
放送作家、
京都芸術大学副学長

「いのちをつむぐ」

河瀬 直美
映画作家

「いのちを守る」

催事企画 プロデューサー

小橋　賢児
クリエイティブディレクター

作成：2025年日本国際博覧会協会